

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

エントリー学校名：茨城県美浦村立木原小学校

活動名：キッズ☆カンパニー
 地域と育む「ふるさとと生きる力」

解決すべき課題：地域全体で子供たちを育てようという風土、三世代家族という環境から、児童は愛情をたっぷりと受けて育っている。一方で、児童は自分から行動したり困難に立ち向かったりする姿勢に欠ける。さらにコミュニケーション力にも課題が見られる。そこで本校の強みである地域の力を活用し、協働して課題解決を図る活動を設定すれば、コミュニケーションを図りながら自ら進んで行動できるようになるだろうと考えた。さらに自分の暮らす地域にも主体的に関わることができると考えた。

目標・方針：地域と連携し、特産品の販売をする起業体験を設定すれば、主体的に販売方法の工夫を考え、協働しながら課題解決をすることができると考えた。さらに、地域の中で生きている実感を味わい、感謝の思いや郷土に対する思いを深めることにもつながると考えた。

活動内容：2016年度より取り組んでいる金銭教育(図1)を軸に、村の商工会と連携し、起業体験「キッズ☆カンパニー」を行う。第6学年37名の児童を6～7人程度のグループにし会社を組織させ、起業、販売、売上金の納税までを行う。銀行からの融資をもとに地域の特産品を仕入れ、販売し利益を上げていくことを目標とした。主体的・協働的に行動できるよう図2の活動を設定し、PDCAサイクルを繰り返しながら活動を進めていく。(図3)

活動の成果：商工会や地元企業の大きなサポートのもと、児童らはたくさんの気付きを得ながら自分の将来や村の将来について前向きに考えることができた。児童らに行ったアンケート(図4)から、意識の変容が分かった。また保護者アンケート(図5)でも、学校と地域が一体となって児童らを育成しているという意識に高まりが見られた。また、学習活動ごとの成果として以下のことを実感した。

- ① 会社概要書作成**
 組織づくり後に社名、目標、利益目標、コーポレートカラーを決定した(写真1)。それぞれに役割を与え、役割を明確にしたことで責任をもって活動ができた。役職同士の横のつながりも図ることができた。
- ② 販売体験**
 スーパーマーケットの駐車場で、特産品の販売体験をした。商工会の方が用意してくれたポップや商品配置などを観察した。店員の動線やお客様とのやりとりの仕方について具体的なイメージをもつことができた。さらに収支が合わず、会計の仕方に課題を見つけることができた。体験後、自分たちの会社にどのように取り入れるか、何をどう改善していくべきか自主的に話し合う姿が見られた。
- ③ 商品選択(写真2)**
 地域の活性化をめざし、地元の特産品を扱った。商工会や食生活改善推進委員会などと連携し、特産品を扱う提供者と連携することができた。商品提供者から商品のプレゼンをいただき、児童らは仕入れる商品を会社毎に決定した。それぞれの会社で違う商品を販売できるよう社長会議で話し合うなど、主体的な行動が見られるようになった。
- ④ 融資審査会(写真3, 4)**

資金を得るために、自分たちの企業理念や利益計画を銀行に説明した。銀行の支店長、商工会青年部の方々を審査委員に招き、販売方法などに工夫があり、利益が見込まれる会社のみ融資を受けることができた。融資を獲得するために、販売方法だけでなくプレゼンの仕方まで工夫を凝らすなど、話し合いと練習を繰り返した。ライバル社でありながら、アドバイスし合う姿も自然と生まれ、協力する姿が多く見られるようになった。

- ⑤ 商品販売(写真5)・決算報告会(写真6, 7)**
 村の産業祭りで商品を実際に販売した。お客様からの声かけが児童らの励みとなったようだ。そして地域の方々を招待しての催しである「しろやま祭り」で決算報告を行った。商工会の方から講評をいただき、自分たちがキッズカンパニーで学んだこと(図6)をまとめ、さらに社会に出る自分への誓いを立てた。
- ⑥ 納税と借入金の返済(写真8)**
 各社の社長が村長を訪ね、税金を納めた。納税を通し、村の将来について考えを深められた。村長との懇談でも、自分たちが村を盛り上げていくという思いを話していた。

アピールポイント(アイデアや工夫)：

- ・起業体験そのものが、自分たちで考え、話し合い、試行錯誤していく活動となった。
- ・地域の活性化を願う地域社会と児童らの思いが一つになり、地域に対する思いを深めることができた。
- ・商品やお金、すべて本物を扱うことで、活動に責任と緊張感が生じた。

図1 金銭教育 全体計画

活動期間	活動内容	学習活動
5月	キッズ☆カンパニーの説明 会社概要書の作成	金銭教育
6月	決起大会 役割の説明	金銭教育
7月	販売体験 商品の説明 商品の選択	金銭教育
9月	事業計画書の説明 事業計画書の作成	金銭教育
10月	融資審査会 融資審査会 出店準備	金銭教育
11月	キッズ☆カンパニー 決算報告書の説明 租税教室 決算報告書の作成 決算報告会	金銭教育
12月	納税	金銭教育

図3

図5

図4

図6

キッズカンパニーで学んだこと

- ・お金の大切さ
- ・働くことの大変さ
- ・一致団結が必要
- ・地域の方の温かみ
- ・家族と地域への感謝
- ・みんなでやればできること

(児童の発表資料より引用)

写真1 会社概要書作成の様子

写真2 商品選択の様子

写真3 融資審査会の様子

写真4 融資審査会の様子

写真5 商品販売の様子

写真6 決算報告会の様子

写真7 決算報告会の様子

写真8 納税の様子